

コンビネーション350号

1手でも多く正確に読むこと

函館チェスサークル・インターネット通信

2017年4月7日発行



北海道選手権より 中央が木村君

000

北海道選手権特集 (2)

000

渋谷快成君の棋譜をご紹介します。渋谷君は今回全道4位、講師の山田明弘を超える順位で、大きな結果を残しました。以下、棋譜解説はFM山田弘平。

なお、北海道選手権の棋譜は函館のHPからPGNファイルをダウンロードできます。札幌チェスクラブのブログでは駒を動かして鑑賞できるようになっています。

000

3ラウンド 渋谷 vs. 眞鍋戦 解説

000

1. e4 Nf6 2. Nc3 d5 3. exd5 Nxd5 4. Nxd5

専門的には良くない一手です。黒のクイーンにセンターに居座られてしまい、白のピースをうまく働かせることができません。代わりに4. d4 などとして、センターの主導権争いを続けるべきでした。

4... Qxd5 5. Nf3 Nc6 6. d4 Bg4 7. Be2 O-O 8. c3 e5

この定跡において黒が理想とする形の一つです。黒だけ早々とキャスリングし、ピースを展開しながら攻めていきます。

9. Be3 exd4 10. Bxd4

こう取るのではつらいところですが、10. cxd4 には 10... Bb4+ が厳しく、我慢の一手です。

10... Qh5?!

素直に 10... Nxd4 とビショップペアを奪っておけば、黒十分だったでしょう。

11. h3 Bc5? 12. O-O Nxd4 13. Nxd4

13. cxd4! と取っておけば、互角に戻すチャンスでした。13. cxd4 Be6 14. Qc2 Bd6 15. Ne5 Qh4 16. Nc6!! 互角。

13... Bxe2 14. Qxe2 Qxe2 15. Nxe2 Rd2

序盤の差がそのまま終盤で響き、白苦戦です。

16. b4 Rxe2 17. bxc5 Kd7! 18. a4 Kc6 19. Rfe1 Rhe8 20. Red1 Rc2 21. Re1 Ree2 22. Rxe2 Rxe2 23. Rd1 Re7

しかし、ここから黒が消極的になります。23... Re4! などの手が良かったでしょう。

24. Rb1 Re2 25. Rd1 Rc2 26. Rd3 f6 27. g4 g6 28. Kg2 Kxc5??

黒はパスポーンの作り合いを選択しましたが、この展開は白に十分なカウンターチャンスを与えます。



29. Rd7! Kb6 30. Rxh7 Rxc3 31. Rh6 c5 32. Rxc3 c4 33. Rxf6+ Ka5

29. Rd7 がいい判断でした。キングサイドのポーンを全て消し去り、ここではむしろ黒がドローのためにがんばらなければならない局面です。

34. g5 Rd3 35. g6 Rd8 36. Rf4 Kb4??



この手は重大なミスです。白には g-h ファイルにコネクテッド（つながる）・パスポーンがあります。ルークという駒はこのコネクテッド・パスポーンに弱く、特に 6 段目に並んだ場合はルーク 1 個だけで対抗することができません。

一方、黒の方は（白 a ポーンが残っていて）まだコネクテッド・パスポーンを持っていません。黒の正しい方針は、白のコネクテッド・パスポーンを消しにいく手、36. c3 Rc4 37. Rg8!（白ややよし）でした。

白番、次の一手がわかりますか？

37. g7

今大会、エンドゲーム力で勝ち抜いた渋谷君ですが、37. h4! という手を指せるようになれば、もう 1 段上のレベルに行けることでしょう。6 段目にポーンを並べるのが正しい指し方で、これならば白勝ちでした。

黒の方は、Kb4 としてしまったために、c ポーンをすすめるためにはもう一手、Kb3 と指さなければなりません。一例を示しておきましょう。37. h4! Kb3 38. Rf7! c3 39. Rxb7 Kxa4 40. Rc7 Rg8 41. h5 Kb3 42. g7 c2 43. h6 白勝勢

37... Rg8 38. Rf7 a5?

チェックで取らせてはいけません。38... b5!（互角）とすべきでした。

39. Rxb7+ Kxa4 40. Kf1 Re8 41. Re7 Rd8 42. Rd7 Re8 43. Re7 Rd8 1/2-1/2



本局はここでドローになりました。両者の合意ですが、この局面ははっきり白にチャンスがあります。お互いにパスポーンを持ち合っており、黒のキングはパスポーンをサポートできるため一見良い勝負に見えますが、コネクテッド・パスポーンを持っている白の方がはるかに有利です。44. h4! c3 45. Rc7 Kb3 46. h5 と進めてみると、黒のルークはパスポーンを止めることはできません。白はすでに c ポーンをルークで止めています。

中終盤の力についてはついてきているので、今後、こういった終盤をもっともっと勉強していけば、北海道で渋谷君の優勝はそう難しくないはずです。これからも頑張って練習してほしいと思います。

そして他の皆さん、ぜひ渋谷君に続けてください！



第 3 ラウンドの終盤。手前左が渋谷君、奥左が木村君

全国百傑戦 山田弘平 vs. 小島なつみ

先日行われた百傑戦から一局ご紹介します。このゲームは途中から差がついてしまいましたが、今大会で自分が大事にしていたこと、強くなりたいプレイヤーが大事にすべきことがよく出ているゲームだと思います。

この大会で自分は、「どんな局面でも、一手でも多く、正確に読むこと」を目標に掲げました。オリンピックの 10 ラウンド、若き FM 相手に読み負けた経験から、少しでも自分の読みの正確さを高めたかったからです。

相手のなつみさんは昔からの知り合いで、一緒にチェスも勉強する仲ですが意外にも公式戦では初対戦です。

1. e4 e5 2. Nf3 Nc6 3. Bb5 a6 4. Ba4 Nf6 5. d3!?



今大会ではどの定跡を指すか事前に決めていませんでした。最近のトレーニングでは 3. Bc4 を中心に指していましたが、このゲームでは、1 年ほど前から一流プレイヤーの間でもよく指されている Ruy Lopez（ルイロペス）の流行ラインをチョイスします。ここは、5. 0-0 b5 6. Bb3 Be7 7. Re1 0-0 のような手順が最も多く指されています。

5... b5 6. Bb3 Be7 7. 0-0 0-0

お互いに駒組みを進めますが、黒が d6 と突く手を保留しているのに注目です。通常、黒はセンターポーンを守りながら c8 のビショップの利きを増やして d6 とすることが多いですが、このゲームではより積極的に d5 突きを目指しているようです。

8. a4

ここは色々な手があるところですが、ひとまず黒の態度を聞いてみることにします。次に axb5 と取ると黒は取り返せない（ルークがピンになっている）ので、黒はそれを防ぐ必要がありますが、b4 と突けば Nd2-Nc4、Rb8 のような手なら Nc3 からナイトを使っていこうとしています。

8... Bb7 9. Nc3 b4

自然な手ですが試合中はありがたいと感じていました。白は d3 とセンターを固めているので、このビショップの利きが e4 で止まっています。しかし、黒の方もいずれ d5 を突く予定で、それが実現すれば直接白キングを攻撃できる強力なピースに変身します。黒が b4 を突かなかったので、白は予定どおり c3 からナイトを使います。

10. Ne2 a5?!

白は Ne2 と引いて Ng3-Nf5 を狙います。それに対して黒は a5 と b4 のポーンを支えてきました。これは将来白から a5 と突かれて b4 が孤立することを防いだ丁寧な手ですが、少しゆっくりしすぎだったようです。白の Ng3-Nf5 は強力なので、その狙いを防ぐかより強力なカウンターで応じることを考えるべきでした。

おそらくベストはすぐに d5 と突く手で、e5 や b4 のポーンが弱いまま戦うことになりませんが、黒のピースもよく働いており良い勝負だったと思います。

11. Ng3 Re8 12. Nf5 Bf8



狙い通り Nf5 が実現し、ここでは決定的なチャンスが白に訪れていると考えました。この試合のテーマである、「正確な読み」を入れるべく、ここで長考します。

13. Ng5 d5 14. exd5?!

残念なことに、40 分以上考えた結果、不正確な一手が出てしまいました。

読み方というのは人によって差がありますが、基本は

1. 候補手を洗い出す
2. 強制力の高い手から順に読んでいく
3. 評価をしてから読みを打ち切る

…という順番で読んでいきます。

2. の強制力というのが難しいと思いますが、「相手の候補手が少ない手」と考えてください。

例えば、チェックをする手は一番最初に読むべきです。なぜならチェックに対する応じ方は逃げる、チェックした駒を取る、間に駒をはさむ、の最大 3 通りしかないからです。

13 手目の局面で、最も強制力が高い手は 13. Ng5 で、次の f7 取りを防ぐ手は 13... d5 しかありません。そこで候補手は 14. exd5 (ナイト取り) と 14. Bxd5 (f7 取り) の 2 通りを考えます。

自分は最初に 14. Bxd5 を考えましたが、うまくいかないと考えて本譜の 14. exd5 を選択しました。しかし、実際のベストは 14. Bxd5 です。皆さんは Bxd5 の後の局面をどれだけ読めるか、チャレンジしてから次を読んでください。

14. Bxd5 の後、黒は 14. Nxd5 と応じるしかありません。そこで白の候補手は何でしょう。もちろん 14. exd5 も考えられますが、14. Qh5! という手を最初に読むべきです。この手は h7 と f7 の両取りになっていて、特に h7 を取る手はメイトのため、非常に強制力が高い一手です。黒はこの手に対して 14... Nf6 と応じるしかありません。そこで 15. Qxf7 Kh8 と進みます。白はビショップを捨てているので、ここで読みを打ち切ってはいけません。

16. Qc4! を発見できた人は相当な実力者です。次の Nf7 でキングとクイーンの両取りになるため、この手も強制力の高い一手になります。Nf7 の両取りを防ぐ手は、16... Qd7! しかありません (16... Qb8? はメイトになります。発見できますか?)。

さて、自分は試合中、ここまで読んで次の白の手がわからなかったため、14. Bxd5 を諦めてしまいました。しかし、これは読みの基本から外れています。何はともあれ、チェックする手は考えておくべきです！

17. Nf7 Kg8 18. Nd8! が絶妙な一手で、この手で b7 のビショップを取り返せることに気がついていませんでした。

た。ポイントは18. Nd6? とやってしまうと18. Qe6!とクイーン交換を強制されてしまうことで、これでは白の有利がなくなってしまいます (b7のビショップはとれませんが)。ナイトが戻るマスがないことに注意です!)。Nd8と入り込むことで、Qe6を防いでいることに注目してください。クイーンが残っていれば、b7のビショップを取った後、ナイトはc5に戻ることができます。

長い変化になってしまいましたが、強制力の高い手が多い変化でしたから、しっかり読み切る必要がある局面でした。ここが本局一番の反省点です。

14... Nd4?

本譜は黒にも不正確なディフェンスが出ました。ここは14... Ne7!と下がるべきで、次にNed5とナイトで白のビショップを止めに行くのが正解です。

自分は40分のうちほとんどの時間をこの変化に使っていましたが、最終的な結論は、14... Ne7 15. d6 Ned5 16. Qf3!で、キングサイドで攻撃を続けられる白がやや有利というものでした。

15. Nxd4 exd4 16. d6 Bd5 17. Bxd5 Nxd5 18. Qh5!



おそらく黒が見落としていた「候補手」です。ピースサクリファイスなしでf7が取られてしまっただけでは、事実上試合終了です。

はっきり言えばこの後はどう指しても勝てる局面ですが、それではこの試合の目標は達成できません。目標は「どんな局面でも」正確に読むことです。

18... Nf6 19. Qxf7+ Kh8 20. Qc4!

b3に引いても勝ちですが、あえてこのマスに下がるのが重要です。

20... Qd7! 21. Nf7+ Kg8 22. Ne5+ Qe6

次の一手でさらに優勢を拡大します。



23. d7!

白のクイーンが黒のキングを狙っているうちに、この手を入れておきます。黒のルークは横に逃げられませんし、23... Nxd7 24. Nxd7では、ナイトを取り返すことができません。23... Qxc4には24. dxe8=Q! Rxe8のあと、25. Nxc4とナイトを逃げながらクイーンを取り返すことができます。もし、20手目でQb3と引いていると、この変化のときにナイトを取り返されてしまいます。

23... Re7 24. Nc6 Qxc4 25. Nxe7+ Bxe7 26. dxc4

本譜はRe7とかわしてきましたが、そこでNc6と入り、チェックでルークが取れるようになりました。これでルーク+ポーンとナイトの交換になり、勝勢です。

26... Nxd7 27. Bf4 c6 28. b3 Nc5 29. Rfe1 Kf7 30.

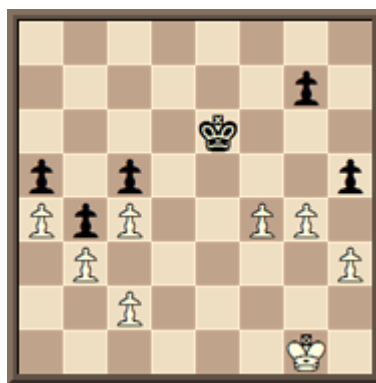
Rad1 Ra7 31. Rxd4 Bf6 32. Rd6 Ra6 33. g4 Be7 34.

Rd2 Ne6 35. Rde2 c5 36. Be5 Bf6 37. Bxf6 Kxf6

ここも色々あるところですが、最もシンプルな手を選ぶことにします。

38. Rxe6+! Rxe6 39. Rxe6+ Kxe6 40. f4 h5 41. h3 1-0

ルークを切って、ポーンエンディングにするのが最短の勝ち筋です。

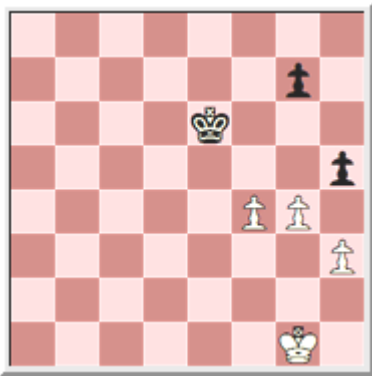


さて、レベルアップしたい生徒のみなさんのために、宿題を出しておくことにしましょう。

問題1：この後白はどうやって勝つのでしょうか？勝ち方を示してください。

ヒント：白が勝つためにはパスポーンを作ってクイーンにする必要があります。「どのポーンが」クイーンになるかイメージしてみてください。

問題2：もし a、b、c ファイルのポーンが全部なかったら、(下の図のような局面で黒番の場合) 白は勝つことができるでしょうか？



どちらも自分ひとりで考え、理解するのは、かなり難しいかもしれません。先生や友達とも話し合ってみてください。

(FM 山田弘平)

以上、百傑戦優勝を記念して本誌のための書き下ろしでもらいました。初級者はもちろん、上級者にも参考になるゲーム解説だと思いますがいかがでしょうか。

θ θ

公式戦結果 3月31日

θ θ

6. ラウンド 日付 2017/03/31

Bo.	Name	Elo	結果	Name	Elo
1	安齋 和真	918	0 - 1	金城 康弘	1451
2	金城 透弥	1383	1 - 0	木村 勇成	1009
3	金城 琉菜	1507	1 - 0	石橋 洗太	990
4	木村 明音	800	0 - 1	工藤 漱之介	952
5	工藤 永柊	0	1 - 0	小林 橙太	0



大会の1日目が終わった夜の札幌にて

θ θ

函館ラピッド・チェス大会 5月21日

函館サマー・チェス大会 7月1日～2日

θ θ

♖♗♘♙♚♛♜♝♞♟♠♡♢♣♤♥♦♧♨♩♪♫♬♭♮♯♰♱♲♳♴♵♶♷♸♹♺♻♼♽♾♿♿♿

オランウータン

♖♗♘♙♚♛♜♝♞♟♠♡♢♣♤♥♦♧♨♩♪♫♬♭♮♯♰♱♲♳♴♵♶♷♸♹♺♻♼♽♾♿♿♿

1. b4 (図 1)



rnbqkbnr/pppppppp/8/8/1P6/8/P1PPPPPP/RNBQKBNR b Kkq - 0 1

初手は 1. e4 か 1. d4 だと思いませんか?しかし、白番のいいところは何を指しても悪手にならないことです。プロも使うのは 1. c4 (イングリッシュ)、1. Nf3 (レチ) ですが、たとえば 1. b4 のオランウータンはどうでしょう?研究者の名を取ってソコルスキー・オープニングとも呼ばれます。変な手ですが、「見た目より悪くない」と彼は結論を出しました。

変な手なら他にまだまだあります。よく見る順にあげてみましょう。1. f4 (バード)、1. g4 (グロブ)、1. b3 (ラールセン)、1. Nc3 (ファン・ゲート) などなど。

黒番がどう対応すればいいか迷うかもしれませんね。しかし、どのような手に対しても序盤の原則や鉄則にしたがって指していれば大丈夫です。白が優勢になる変化はありません。

1... e5 2. Bb2 f6!?

オランウータンに対抗する手として昔から有名な変化です。2... Bxb4 3. Bxe4 Nf6 と取り合う方がベストとする説もあります。

しかし、おすすめは、2... d6 3. e4 Nf6 4. Nc3 Be7 5. Nf3 O-O という原則どおりナイトとビショップを展開させてのキャスリングです。

『まずナイトとビショップを展開せよ』

『早くキャスリングせよ』

6. Bc4 なら 6... Nxe4! 7. Nxe4 d5 で互角以上。初手 b4 が浮いて見えませんか?

ここからは白番のボビー・フィッシャーが同時対局で見せた美しい攻めを鑑賞しましょう。

3. e4!? Bxb4?!

3.e4 : ソコルスキー・ギャンビット!

このときコンピューターは b4 ポーンを取る手を黒番のベストだと言ってくるでしょうが、研究していないならやめた方が無難です。3... d5!? 4. exd5 Qxd5 5. Nc3 Qf7! 6. b5 Be6 としておけば穏やかな流れで互角。あなたが人間ならこちらの方が安心でしょう?

4. Bc4 Ne7 5. Qh5+ Ng6 6. f4!? exf4 7. Nf3 Nc6 8. Nc3 Bxc3?

8... Qe7! 9. 0-0-0 Qc5 で黒優勢でした。

9. Bxc3 d6 10. Nh4 Nce7 11. Nf5 Kf8?

11... d5!! で黒優勢、次の黒の手も d5 が正解だったとコンピューターは言っていますが、こんな大乱戦になっては白のペースです。

12. 0-0 Qe8?

黒キングを攻める次の一手を当ててください。



r1b1qk1r/ppp1n1pp/3p1pn1/5N1Q/2B1Pp2/2B5/P1PP2PP/R4RK1 w - - 0 13

13. Bxf6!

ビショップを取ると、Qh6# のメイトです!

13... Bxf5 14. exf5 d5 15. fxd6! gxf6 16. Qh6+ Kg8 17. g7! 1-0



r3q1kr/ppp1n1Pp/5p1Q/3p4/2B2p2/8/P1PP2PP/R4RK1 b - - 0 17

黒は駒損でキングサイドがボロボロです。